

CD009921

プレスリリース



2016年12月14日(水)00.01GMT

連絡先: Jo Anthony

電話: +44(0) 7582 726 634 Eメール janthony@cochrane.org または pressoffice@cochrane.org

テクノロジーが患者の自己健康管理をいかに強力に支援するか、新たなエビデンスが示される

長期的な健康状態の予防および管理における自動電話システム(ATCS)について検討した132試験のデータを要約した

新たなコクラン・レビューで、ATCSは医療の提供に重要な役割を担う可能性があるという結論付けられた。しかし、ATCSの受容性や費用に関する理解を深めるため、さらに研究を進める必要がある。

自動電話通信システム(Automated telephone communication systems, ATCS)は、音声メッセージを患者に送り、相手のプッシュホン電話の数字キーまたは音声認識ソフトを用いて患者から健康情報を収集する。ATCSのなかには、SMSや電子メールを用いて患者が助言や支援を求めることができるタイプ(「ATCS Plus」)のものもある。医療でのATCSの利用は、患者が自己健康管理に自ら進んで関与するようサポートすることを目的としている。

コクランの研究チームは、患者への医療提供の改善について、ATCSの効果を通常の医療と比較し多面的に評価した。ATCSの利用は、処方通りに服薬するための支援や受診日のリマインダーをはじめ、予防接種やがん検診などの予防的ヘルスケア対策の実施率向上やがん、慢性疼痛、糖尿病や精神疾患などの長期的な健康状態の管理の向上にまで及んでいる。

研究者らは、主にヨーロッパおよび北アメリカの高所得国で実施された132の試験を対象にした。ATCSを、通常のケアの標準的な提供方法(すなわちATCSを用いない方法)と比較した。

予防接種の受診日確認や他の疾患の検診を受けるよう促すリマインダーを用い予防的ヘルスケアを提供する方法として、ATCSを評価した試験は41試験であった。15000人を上回る小児および若年者を対象とした5試験では、ATCSを介しリマインダーを提供することにより、リマインダー無しの場合と比較して予防接種の接種率が上昇する可能性が示された。研究チームによれば、ATCSをメール送信などの他のプロンプトとともに用いた場合には、462人の女性を対象とした2つの試験および1013人を対象とした3つの試験において、通常のケアと比較し、それぞれ乳がん検診受診率が20%および大腸がん検診受診率が30%上昇したとの質の高いエビデンスが得られた。

コクラン・レビューでは、簡易自動システムでも、リマインダー無しと比較すると、受診率が向上するとの質の低いエビデンスが得られた。これは、疾患を予防する上で簡易自動システムが重要な役割を担う可能性を示している。

疾患を長期に患っている人でのATCS使用を評価した試験は、84試験であった。異なる種類のATCSが服薬アドヒアランス改善に役立つことが示された一方、臨床転帰への影響は多くの場合一貫していなかった。レビューでは、糖尿病患者1246人において、インタラクティブ要素を備えたATCSによる介入群の血糖値が若干低かったとの質の低いエビデンス、およびこの方法は足の健康をチェックするのに役立つとの中等度の質のエビデンスが得られた。インタラクティブ要素を備えたATCSは、ATCS単独よりもがん患者の疼痛や抑うつを低減させる可能性がある。禁煙に及ぼす影響は明らかではなく、また、高血圧の人の血圧を降下させる効果はほとんどまたは全く認められなかった。

試験では、ATCSによる介入に伴う有害事象は報告されておらず、研究チームはATCSの悪影響、実現可能性および費用についてさらに研究を重ねる必要があると提言している。

レビューの筆頭著者であるシンガポール南洋理工大学 Lee Kong Chian School of Medicine の Centre for Population Health Sciences 所長を務める Josip Car 医学博士は、上記の知見は有望であり今後追求していくに値する領域を特定する上で役立つとして、次のように述べています。「ATCS は長期にわたる疾患の健康関連アウトカムを改善する可能性があることが、我々のレビュー結果から示されました。このようなシステムは、服薬アドヒアランスや身体活動、体重管理、ならびに糖尿病患者の転帰の一部に的を絞った介入でも有用な要素になり得ます。一方で、HIV/AIDS、高血圧、メンタルヘルス、閉塞性睡眠時無呼吸あるいは禁煙支援などの他の領域における ATCS の効果は明確ではありません。」

Josip Car 博士は、「ATCS は、日常診療と比較したとき、患者の健康行動に変化をもたらす可能性が、我々のレビューによって示されています。これは、世界的な保健研究にとり、e-ヘルスにおける前向きな前進です。このようなシステムの利用によってもたらされる潜在的な効果を示すエビデンスを補足するため、費用および悪影響についてさらに情報が必要です。さらに研究を重ねることは、このような通信システムを用いた患者の体験を把握する上で、また、いかにすれば今後、ATCS が患者－医療従事者間の電話による連絡に代わり得るか、もしくは補完し得るかの理解を深める上で役立つでしょう。」と補足しています。

編集者後記:

全文引用: Posadzki P, Mastellos N, Ryan R, Gunn LH, Felix LM, Pappas Y, Gagnon M, Julious SA, Xiang L, Oldenburg B, Car J. Automated telephone communication systems for preventive healthcare and management of long-term conditions. Cochrane Database of Systematic Reviews 2016, Issue 12. Art. No.: CD009921. DOI: 10.1002/14651858.CD009921.pub2

詳細に関するお問い合わせは下記へ josip.car@ntu.edu.sg

メディア広報担当: Jo Anthony

コクラン・メディアコミュニケーション・シニアオフィサー

M +44 (0) 7582 726 634 E janthony@cochrane.org または pressoffice@cochrane.org